

---

# 名無しのアンナ

端木阿里寿

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

名無しのアンナ

### 【コード】

N2102F

### 【作者名】

端木阿里寿

### 【あらすじ】

ある少女の有り触れた風景。アンナと名乗る、名前の無い少女の物語。

アタシ、アンナ。

自分で付けた名前。

本当の名前は知らない。

って言うか、最初から無いらしい。

今、居る所で、世話してくれてるオバサンが教えてくれた。

アンナって付けたのはさ。

少し前まで居た売春クラブの待機室で、テレビに出た子が可愛くて。

部屋に居た他の女の子に「これ、誰？」って訊いたら、土屋アンナって言うから。

それから、アンナになった訳。

年は多分17歳。その辺。

誕生日とか分からないから、大体何となく。

今、居る所は、みんな、親切で気持ち悪い。

優しくする奴は、後で何するか判んないじゃん。

取り敢えず、頭、痛いんだよね。

さつき「頭痛薬、下さい。」って頼んだら、すぐ持ってきてくれるって言ったんだけど。

まだ来ない。

置いてなかったのかも。

自分でドラッグストアに行きたいけど、アタシ、今、部屋から外に出られない身の上。

部屋は六畳で、エアコン付いてるし、テレビも見られるし、ご飯も1日3回持ってきてくれるし、居心地は良いんだけど。

頭、痛いのは、客に蹴り入れられたせい。

フェラン時、アレに歯が引つ掛かったとか因縁たれて、いきなり回し蹴り。

しょーがないじゃん。

アタシの歯、親父にボコられた時に、欠けちゃったんだもん。マジ、ムカツク。

あれから、ずっと頭、痛いんだけど、病院とか行けないし。

保険無いと、すっげー高いから。

そんな金、持ってないって。

だから、ドラッグストアで頭痛薬買って、ずっと飲んでたんだけどね。

時々、どうしようもなく痛む。

今もたまもなく痛いんだ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2102f/>

---

名無しのアンナ

2011年1月26日14時18分発行